事例No.	3663
公表年度	R7
団体の属性	町村
団体名	岐阜県白川村

事例区分	一般行政

タグ	・観光

事例種類	観光DX・マーケティング

事例内容・タイトル

白川郷レスポンシブル・ツーリズム

出典

地方自治研究機構　先進事例調査研究（令和7年度）

白川郷レスポンシブル・ツーリズム

取組のあらまし

取 組 団 体　岐阜県白川村

取 組 内 容　白川郷は、実際に住民が生活している白川村の世界遺産集落であり、生活の場を公開しているため、観光振興において「生活と観光のバランス」が重要である。白川村は持続可能な観光地づくりの一つにマナー対策を上げ、レスポンシブル・ツーリズムをキーワードに掲げている。

推 進 体 制　３名（令和７年度）

1　岐阜県白川村の概要

人　　口	1,456 人	令和７年 11 月１日現在（住民基本台帳人口）
職 員 数	37 人	令和６年４月１日現在（一般行政部門：教育部門等の事例は各々の人数）
総 面 積	356.64 ㎢	令和７年 10 月１日現在（国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」）

図表 1　白川村　位置図

出所：白川村　ホームページ

２　白川村の概要・観光入込

（1） 白川村の概要

白川村は岐阜県西北部に位置し、村の面積（356.64 ㎢）のうち 95.7%が山林であり、人口は 1,456 人となっている（令和７年 11 月１日現在）。

昭和 30 年 12 月に「白川郷・五箇山の合唱造り集落」としてユネスコの世界文化遺産に登録された。

また、白川村は岐阜県の中で一番人口が少ない自治体ではあるものの、現在も岐阜県下 21 市 19 町２村の数少ない「村」としてのアイデンティティを大切にしている。

（2） 観光入込と特徴

白川村では年単位で観光入込をまとめており、過去５年間の観光入込客数は以下のとおりとなっている。

図表 ２　過去６年間の観光入込客数

区分	令和元年	令和２年	令和３年	令和４年	令和５年	令和６年
国内観光客（人）	1,132,238	507,933	419,958	707,211	1,065,613	969,198
海外観光客（人）	1,019,046	202,413	X	63,397	658,441	1,114,244
計	2,151,284	710,346	419,958	770,608	1,724,054	2,083,442

※令和３年は外国人観光客数が微々たる状況のため秘匿処理となっている。

出所：機構作成

新型コロナウイルスが蔓延する前の令和元年には、過去最高となる約 215 万人の観光入込を記録し、その半数近い 47.4%が海外からの観光客であった。

新型コロナウイルスの集束後は観光客が徐々に回復してきて、最盛期と比較して令和５年の時は８割、令和６年には 208 万人の入込数となりほぼ同数の観光客数となっている。その中でも、令和５年の時には 64.6%の回復にとどまったが、令和６年になると海外観光客に至ってはコロナ前の最盛期を追い越す形になっている。

白川村の人口が 1,456 人であることを考えると、観光客数がいかに多いかが伺える。

３　取組の背景・内容

（1） 背景

白川村の世界遺産集落は、今もなお 500 人を超える住民が実際に生活をしているエリアである。生活の場を観光に公開しているため、「生活と観光のバランス」が白川村の観光振興における重要な要素となっている。これを実践するために、白川村独自の観光マナーが存在する。

ア　観光マナー

白川村は習慣・言葉・価値観が異なる観光客が多いことも在り、マナー啓発の取組を進めてきた。

・漫画で読む白川郷マナーガイド（平成 29 年）

・公式ピクトグラムの政策（令和元年）

など、国内外の観光客に向けて、禁止行為などを簡単に伝えるっことに注力してきた。

他方、なぜそれがだめなのか、などの説明が不足していた箇所があった。そこで注目したのがレスポンシブル・ツーリズムであった。

イ　白川郷レスポンシブル・ツーリズム

白川村におけるレスポンシブル・ツーリズムハワイの取組に共感を得たことに始まった。白川村の持続可能な観光地づくりの一つにマナー対策を位置付け、取組のキーワードとして、レスポンシブル・ツーリズムを掲げた。

ハワイの事例のように、観光客に対して具体的な行動や、禁止になる理由を丁寧に示した上で、責任ある観光を求めることが、白川村の観光マナー対策を進めるうえで最良のモデルになると仮定したためである。

図表 ３　白川村レスポンシブル・ツーリズムに関するフレーズ

地球上に唯一無二の美しい村を守り継ぐ

図表 ３　白川郷　レスポンシブル・ツーリズム特設ＷＥＢサイト

上記フレーズ「地球上に唯一無二の美しい村を守り継ぐ」から始めているように、白川郷レスポンシブル・ツーリズムはメッセージ性を意識した構成となっている。特に観光客に意識してほしいマナーとして、

・指定駐車場を利用してもらうこと
・火の取り扱いは厳禁であること
・ゴミは思い出と持ち帰ること
・夜の観光を受け入れていないこと
・ドローンは禁止であること

上記５つに絞り、禁止されている理由とお願いしたい具体的な行動を示すようにした。

加えて、地域が貴重な資源を守るために、どのように取り組んできたのかを「“つなぐ”もの」として紹介している。

ウ　主な取組内容

より多くの観光客に白川郷レスポンシブル・ツーリズムを広めるため、紙媒体のマナーブック発行のみならず、デジタル媒体として特設ＷＥＢサイトを開設している。

図表 ４　白川村レスポンシブル・ツーリズム特設ＷＥＢサイト　図

図表 ４　白川村レスポンシブル・ツーリズム特設ＷＥＢサイト

紙媒体のマナーブックは、様々な観光イベントや観光展における実地で観光客や旅行業者への配布を行い、実際に手に取ってみてもらうためのツールとして利用している。マナーブックは日本語版・英語版の二種類を作成し、特に英語版については、集落における生活感を出すために、あえて通学の写真を使っている。

特設ＷＥＢサイトは、世界に向けて情報発信をするためのツールとして開設した。特設ＷＥＢサイトのＱＲコードを様々な広告媒体に掲示することで、幅広いＰＲ活動が可能になった。

４　これから

（1） 今後の展望について

白川村レスポンシブル・ツーリズムの取組は情報発信が主となっている。情報発信によるマナー啓発は即効性があるものばかりではない。白川郷レスポンシブル・ツーリズムが白川村観光のスタンダードとして認識されるまで、継続した情報発信を継続していくことを目標とする。

また、観光に関しては、年に数回発生する深刻な交通渋滞への対応も急がれる。地理的要因により、新たに道路を作るなどのハード整備が困難である。この問題に対しては、「オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業」に採択されたことを受け、オーバーツーリズム対策を包括的に進めるための情報ＷＥＢサイトの制作にも白川村は取り組んでいる。

こちらも、観光客の行動変容を促す仕掛けとなることが期待される。

関連・参考資料

白川郷レスポンシブル・ツーリズム特設サイト：
https://www.vill.shirakawa.lg.jp/srt/

白川村ホームページ：
https://www.vill.shirakawa.lg.jp/